



●新産業集積エリア

佐賀県

佐賀県は工業用地「新産業集積エリア」を製造業振興における拠点の一つと位置付ける。唐津(第1期、11万平方㍍)と武雄(19万4000平方㍍)を分譲中で、いずれも長崎自動車道のインターチェンジに近接。加えて2014年度以降には唐津第2期と有田、鳥栖の整備を予定する。

佐賀は生産から物流まで一貫してメリットを持つ。九州の陸路の要衝である鳥栖市を県内に擁し、高速道や鉄道貨物による優位性が高い。さらに県北を横断する西九州自動車道と、南北に走る佐賀唐津道路の延伸工事が進む。国重試験場とともに先端的研究を支援する。支援制度では法人事業税を立地5年まで免除され、同6年まで50%非課税の制度が待つ。同時に武雄市は上限額1億円の雇用奨励金や、最大6億円の用地補助金を設けており充実した支援メニューがある。

佐賀では日本一の地震の少なさとともに、確立可能な生産体制の確立が開かれている。

陸海空のインフラ



●ウエストテクノ佐世保

長崎県

長崎県で今後注目の工業用地が、佐世保市内に造成予定の「ウエストテクノ佐世保」だ。分譲面積(有効面積)16万7400平方㍍で、西九州自動車道佐々木インターから4分という近さだ。2013年末の分譲開始を目指している。伊万里港や長崎空港まで約1時間という輸送面の強みとともに、地震の少なさもリスク管理に適している。豊富な人材を活用して、底堅い基盤産業の上に高附加值の製造拠点立地を期待している。

佐世保市は分譲に先駆けて、同用地の全面取得に対して最大6億円を補助する独自の優遇制度を設けた。また3億円を限度に、土地建物の賃借料の半額を5年間助成する制度もある。このほか最大3億円の立地奨励金、同1億円の雇用奨励金が用意されている。

長崎県の補助制度も併用可能だ。20億円を限度に投下固定資産額の5%を補助する「生産設備等整備補助金」、常用雇用者につき50万円(限度額5億円)の「新規雇用促進補助金」など企業への補助は厚い。

市内には佐世保重工業、佐世保造船所があり、造船を中心とした基盤産業が根付いている。また佐世保工業高等専門学校や工業系高校など5校があり、新たな立地企業を労働力として支える。

基盤産業を支えに



●菊池テクノパーク

熊本県

熊本県には2013年度に分譲を開始する菊池市の工業団地「菊池テクノパーク」がある。同団地の分譲面積は約15.7㌶。地下水が豊富で九州の真ん中に位置している。熊本空港まで12キロ、JR熊本駅まで26キロほどとアクセスも良好だ。

近隣にポンダ熊本製作所(大津町)や東京工業、レクトン九州(合志市)、ソニー・セミコンダクタ九州熊本テクノロジーセンター(菊陽町)、富士フィルム九州(菊陽町)などの工場が集積していることも特徴。また原水工業団地川辺工業団地、住吉工業団地など工業団地が多く集まっている。

熊本県では熊本県立地促進補助金として、県内に工場または研究所を新設・増設する企業に対する制度を設けている。投資額3億円以上、雇用10人以上が対象で最高50億円の補助が受けられる。また立地自治体である菊池市も同様に、用地取得補助金として取得価格の30%で限度額3億円、雇用促進補助金として一人につき30万円で限度額600万円、固定資産税も3年間免除する。

周辺に半導体自動車関連企業が集積している強みを生かして企業誘致活動を強化する予定だ。

近隣に大工場集積



●志布志港新若浜地区

鹿児島県

鹿児島県は地域の特性を生かした農畜水産物を中心とする「食品産業むら」を柱に産業振興を行っている。県南東部に位置する「志布志港新若浜地区」は注目工業用地の一つ。造成地は約11㌶となっている。

車でのアクセスは鹿児島空港まで65分、東九州自動車道於弥五郎インターまで35分、国道220号線まで3分だ。また近接している志布志港は南九州地域における国際物流拠点として発展しており、中国・韓国・台湾・香港・フィリピンとの間にコンテナ定期航路が4航路週8便体制で就航。11年の国際コンテナ取扱量は9万4000TEU(2012年コンテナ換算)で過去最高を更新した。また船と港との荷物の積み下ろしに使われるガントリークレーンの使用量や国際コンテナ船の係船料を従来の2分の1に減免し、利用やすくしている。

県の優遇制度は企業立地促進補助金として最高10億円。増設も含めて何度でも利用可能だ。

企業立地資金融資として最高5億円の低利融資、事業税や不動産取得税の減額や免除も行っており、企業の負担を軽減する。

志布志港地区を利用した食品産業の拠点を整備し、志布志港地区を利する予定だ。

食品柱に産業振興

PORT OF MIIKE 三池港
航路開設6年目で10,000TEU突破!!
韓国航路(釜山港~三池港:週2便)

社:興亜海運株式会社
日本総代理店:三栄海運株式会社
三池港代理店:三池港物流株式会社
マイポートみいけ利用促進協議会
福岡県県土整備部港湾課内
TEL 092-643-3674
<http://www.miikeport.jp/>

大牟田市立地企業会
本会は、大牟田市に進出した企業で組織し、会員間の親睦融和を図り意見交換を行いながら、立地企業の健全な発展と大牟田市の活性化に貢献する取り組みを進めています。
大牟田市立地企業会 会長 村山 哲朗

(株)旭精機
アシックスアパレル工業(株)
(株)エフテック
オタライド(株)
オーム乳業(株)
関東化学(株)
九州精密機器(株)
近鉄エンジニアリング(株)

昭和アリニウム缶(株)
住商アグリビジネス(株)
田村(株)
(株)ノックス九州
中嶋産業(株)
ニヨリ(株)
日本イットリウム(株)
(株)ネットワークサービス

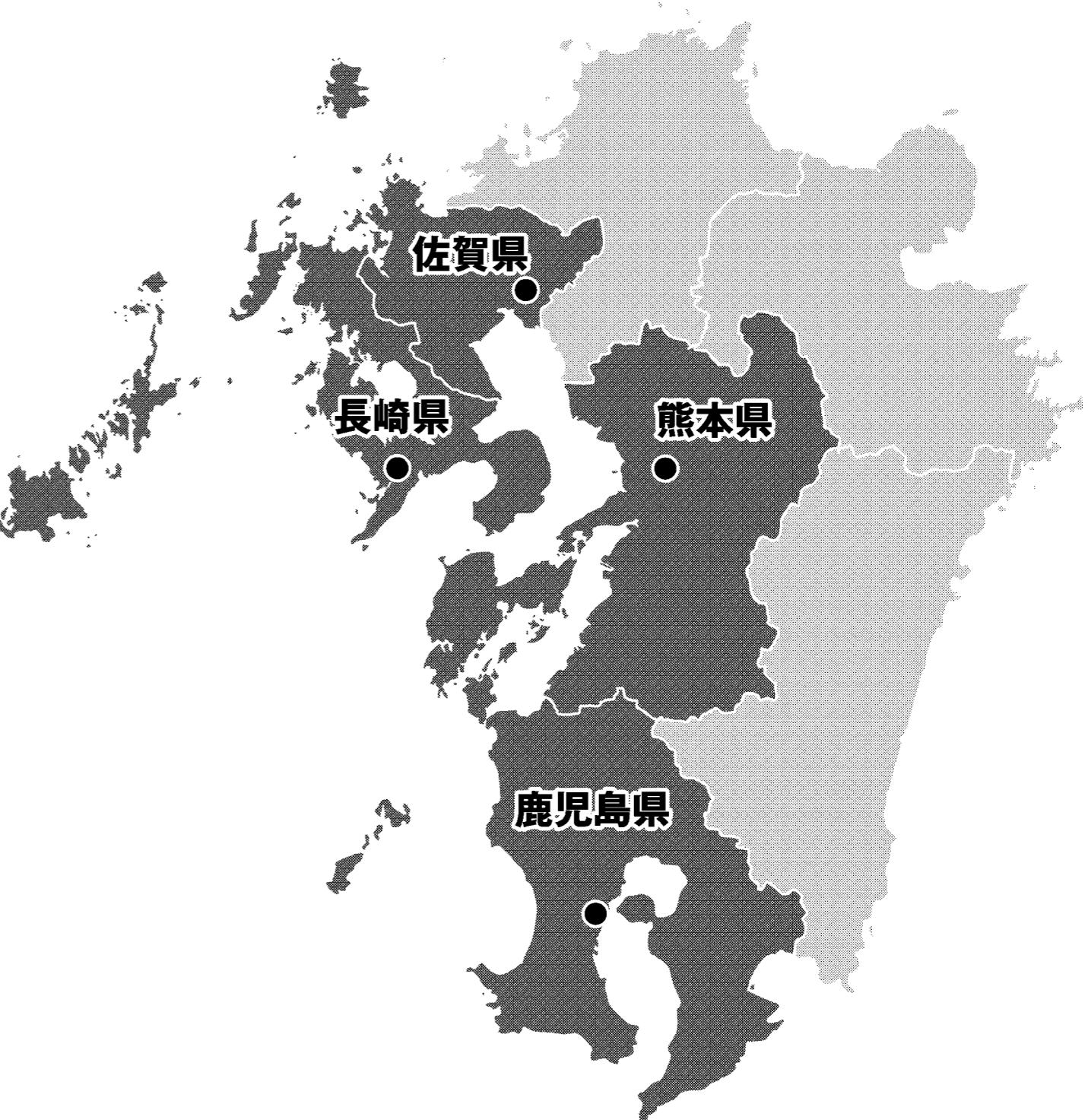
(株)福岡トミヤ
北星産業(株)
松尾産業(株)
松谷海苔(株)
室町ケミカル(株)
ヤヨイ食品(株)
YOCASOL(株)

〒836-8666 大牟田市有明町2丁目3
URL <http://www.city.omuta.lg.jp>
TEL (0944) 41-2724 FAX (0944) 41-2751

大牟田商工会議所商工経済課
〒836-0842 大牟田市有明町1丁目1-22
URL <http://www.omutacci.or.jp>
TEL (0944) 55-1111 FAX (0944) 55-1114

九州7県

イチ押し



人にも自然にも優しい生活環境を



生活様式の多様化や科学技術、産業技術の発達は、私たちにより便利で快適な生活をもたらしました。その一方で、健康被害や環境汚染などの問題も山積みです。

シー・アール・シーでは、食品衛生の環境対策の一環として、生ごみを水と炭酸ガスに分解する業務用生ごみ処理機「シンクピア」を販売しております。

自然由来のバイオ菌を利用して地球に優しく、食品リサイクル法にも対応することができる次世代生ごみ処理機です。

生ごみが消える!生ごみ処理機「シンクピア」

驚異のバイオ力で 生ごみを水と炭酸ガスに分解!

- 残存物は取り出し不要
- ニオイを気にせずに使えます
- 用途に応じたタイプを選べます
- 経済的でメンテナンス年2回

処理容量は、30kg/day、50kg/day、100kg/day、200kg/day、300kg/day、500kg/dayがあります。ご希望に応じて、特注品も準備可能です。

GJ-50 GJ-100

●シンクピア販売製造元 SINKPIA・JAPAN 株式会社
●九州エリア代理店

SINCE 1962 シー・アール・シー

資料の請求・お問い合わせ先
092-623-2130

〒813-0062 福岡市東区松島3丁目29-18
<http://www.crc-group.co.jp>

